

新型コロナウイルス濃厚接触者等 訪問介護サービス対応マニュアル



船橋市訪問介護事業者連絡会作成 2020 年 6 月

目 次

1. はじめに	1
2. 濃厚接触者とは	1
3. 濃厚接触者等への訪問介護	
サービスの基本手順	1
① 基本原則	1
② ケアマネジャーとの連携	1
③ 利用者・同居家族等への対応	2
4. 感染症に関する基礎知識	2
① 予防の基本原則	2
② 新型コロナウイルスの感染症対策のポイント	2
表1 感染経路及び具体的な対策	3
表2 濃厚接触者等へ訪問する前に準備するもの	4
表3 濃厚接触者等へサービスを提供する際の感染予防に係る手順	5
5. 上記手順に記載のないケア等の注意点について	9
【参考動画】	1 1
【参考資料】	1 1

1. はじめに

<マニュアルの目的>

- ① 訪問介護を行う際の感染症に関する知識を身に付けることにより、ホームヘルパー等の感染を防止する。
- ② 利用者及び同居家族等が濃厚接触者（同居家族が感染者となり入院した場合を含む）となった場合において、訪問介護サービスが継続できるように、正しい知識と技術を身に付ける。

2. 濃厚接触者とは

【患者の感染可能期間に接触した者のうち、次の範囲に該当する者】

- ① 患者と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった者。
- ② 適切な感染防護無しに患者を診察、看護若しくは介護していた者。
- ③ 患者の気道分泌若しくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者。
- ④ その他：手で触れることの出来る距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防なしで患者と15分以上の接触があった者。

※「濃厚接触者に接触した人」については、その時点では一般の方と同様となるため、引き続き従来のサービスの提供を行う。

3. 濃厚接触者等（保健所が濃厚接触者と判断した者を含む）への訪問介護サービスの基本手順

① 基本原則

（ア）保健所の指導を最優先として対応する。

（イ）同居家族等が濃厚接触者となった場合は、ホームヘルパーが訪問している間は別室で待機していただく。別室での待機が難しい場合は2 m以上の距離を保っていただき、定期的に換気を行う。

（ウ）ホームヘルパーの選定においては、持病や免疫低下のある者、妊婦等の派遣は控える。

② ケアマネジャーとの連携

（ア）利用者が濃厚接触者としての自宅待機の期間において、感染のリスクを抑えるために、代替サービス（日用品の宅配サービスや配食サービスの利用等）

の利用及び必要不可欠なサービスへのプランの調整を行う。

- (イ) 原則、濃厚接触者等の訪問はその日の最後になるように依頼する。難しい場合は、当マニュアルに沿って対応する。
- (ウ) 利用者・同居家族等が発熱や風邪等の症状及び緊急を要する体調不良になった場合に備え、ケアマネジャー等と連絡がとれる体制を予め決めておく。
- (エ) 自宅待機の期間は、利用者がマスクを着けられない密室での支援となる入浴介助は感染のリスクが高まるため、清拭に切り替える等ケアマネジャーとプランの調整を行う。

③ 利用者・同居家族等への対応

- (ア) ホームヘルパーの感染症予防対策として重要であるウイルスを「持ち込まない・持ち出さない」ことを徹底するため、完全防護の対応をさせていただくことの同意を得る。
- (イ) ホームヘルパーの派遣を継続（新規依頼を含む）するにあたっては、利用者・同居家族等（同居家族等は極力別室に居ていただく）にマスクを必ず着用（障害・疾病等止むを得ない場合を除く）していただく。また、ホームヘルパーが訪問する前に、利用者・同居家族等は必ず検温して、息苦しさ（呼吸困難）、だるさ（倦怠感）、発熱や咳など軽い風邪症状が出現した場合は、予め事業所に連絡することに同意していただく。
- (ウ) 原則、感染症予防対策として使用した手袋、マスク、ガウン等は、利用者・家族等で処分していただくよう依頼する。

4. 感染症に関する基礎知識

① 予防の基本原則

新型コロナウイルスの感染原因は、接触感染・飛沫感染が経路となることから、咳やくしゃみを浴びない、複数の人が触れる蛇口・ドアノブや自分の衣類・顔・髪等を触った手で目や口、鼻に触れないことを徹底する。具体的には、お互いがマスクを着用して飛沫感染を防ぎ、手袋・ガウンを着用した上で、手洗い・手指消毒を徹底することにより感染を防ぐことができる。

② 新型コロナウイルスの感染症対策のポイント

- (ア) サージカルマスクを着用する。

- (イ) 利用者宅へ入室したら、退室するまでマスクを外さない。
- (ウ) 利用者・同居家族等にも、ホームヘルパーが家に入る前にはマスクを着用していただく。
- (エ) ウイルスが付着している可能性がある場所（自分の身体を含む）を常に意識しておく。
- (オ) ケアごとに手洗い・手指消毒を行い、支援中は自分の目・口、鼻を触らない。
- (カ) アルコール消毒液は、手のひらにすり込むだけでなく、十分な量を使って、手洗い同様に爪・親指・指の間・手首を忘れずにしっかりすり込む。
- (キ) ウイルスが飛散することを防ぐために、トイレに汚物を流すときは蓋を閉める。また、ビニール袋を縛る際は排気を浴びないように注意する。
- (ク) 退室後は、速やかに事業所又は自宅に帰り、持ち帰ったゴーグルの消毒、衣類の洗濯（一般的な洗濯でよい）、シャワー等で身体を清潔にする。

表 1 感染経路及び具体的な対策

感染経路	具体的内容	具体的対策
接触感染	感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスが付着する。他の者がそれに触るとウイルスが手に付着し、その手で目や口、鼻を触ると粘膜から感染する。	こまめに手指の消毒（適宜手袋を装着した状態でも実施）を行う。また、手袋、ガウン、キャップ、足カバー等により防護し、ウイルスに直接触れないことを徹底する。
飛沫感染	感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の者がそのウイルスを口や鼻等から吸い込んで感染する。	お互いにマスクを着用する。 ゴーグル、フェイスシールドなどで粘膜からの感染を防止する。 室内を定期的に換気する。 窓を2か所以上開けて空気の流れを確保する。

表2 濃厚接触者等へ訪問する前に準備するもの

準備するもの	写真
PPE（個人防護具） ① サージカルマスク 2 枚 ※退室の際に交換 ② 手袋 3 組以上 ※2 組装着し汚れたら外側を交換 ③ ガウン（使い捨てエプロン）2 枚 ※1 枚は予備 ④ キャップ 1 枚 ※シャワーキャップでも可 ⑤ ゴーグル 1 個または⑥フェイスシールド 1 枚 ※花粉用眼鏡でも可 ⑦ 足カバー 1 組	
備品 ① ビニール袋 45 ℓ 2 枚 ② ビニール袋 20 ℓ 1 枚 ③ 石鹼（ハンドソープ） ④ アルコール消毒液（70%） ⑤ アルコール除菌ウェットティッシュ	〔用途〕 ● 45 ℓ（廃棄用 1 枚、バッグが床に付かないよう入れる袋 1 枚） ● 20 ℓ（ゴーグル等持ち帰る物を入れる袋） ● ゴーグル等持ち帰る物を拭く。

表3 濃厚接触者等へサービスを提供する際の感染予防に係る手順

手 順	ポイント
【利用者宅に到着】 ① マスクは事前に着用しておく。 ② 夏場は入室前に水分を補給する。 【玄関での準備】 ① バッグが床等に接触しないよう、大きいビニール袋に入れて玄関ホール等へ置く。 ② 上着等支援に不要なものは、バッグと一緒にビニール袋へ入れる。 ③ 足カバーを付けて、スリッパを履いてからあがる。 ※スリッパは事業所で準備し、利用者等が自宅待機の期間は利用者宅に置かせていただく。	● ホームヘルパーが到着する前に玄関の鍵を開けておいていただく。 ● ガウン等を着用するまでは、利用者には居室にいていただくよう事前に伝えておく。 ● エレベーターのボタン、インターホンやドアノブにもウイルスが付着しているかもしれないことを意識する。  

手 順	ポイント
【手洗い】 ① 利用者に会う前に洗面所の蛇口等をアルコール消毒液で除菌してから手洗いを行う。 ② 石鹸(ハンドソープを小分けにして持参するとよい)・タオル(ペーパータオルでも可)は持参したものを使用する。 ③ 手を洗うときは、爪・親指・指の間・手首をしっかり洗う。 ④ 石鹸(ハンドソープ)を泡立てて、60秒間しっかりもみ洗いし、15秒流水で流す。 ⑤ 最後に水を止めるときは、蛇口に触れないように注意する。蛇口に触れる場合は、蛇口も石鹸で洗ってから止める。 ⑥ 手指消毒を行う。 【玄関ホールで準備】 ① 予め着衣の順番に用意したビニール袋の前に立つ。 ② 内側の手袋を付ける。 ③ ガウンを付ける。 ④ ガウンの袖口を被せるように外側の手袋を付ける。 ⑤ 頭髮と耳を覆うようにキャップを付ける。 ⑥ 外側の手袋を付ける。 ⑦ ゴーグルを付ける。 ⑧ 隙間なく装着されているか鏡で念入りに確認する。	● 洗面所の使用を予め了解を得ておく。 ● 固形石鹸を使用する場合は、表面にウイルスが付着している可能性があるため、よく洗ってから使用する。 ● 手を洗った後は、手でマスク・顔・髪の毛を触らない。 ● 手洗い後にウイルスが付着している可能性がある場所(ドアノブ等)を触ったら再度手指消毒を行う。

手 順	ポイント
【健康チェック】 ① 利用者へ挨拶する。 ② 利用者・同居家族等がマスクをしているか確認する。 ③ 窓を2か所以上開けて換気を行う。 ④ 利用者・同居家族等の健康状態を確認する。 ⑤ 検温を行っていない場合は検温する。 【食事介助・口腔ケアをするとき】 ① 食事の前にテーブル等に付着したウイルスを取り除くため、アルコール除菌ウェットティッシュ等（塩素系漂白剤を0.05%に希釈したものでも可能）で拭く。 ② 利用者の手も消毒剤で消毒する。 ③ 唾液で服を汚さないように前掛けを付ける。 ④ 食事の間は言葉による会話をできるだけせずに、OKサインや頷き、笑顔等でコミュニケーションを図る。 【次のケアに移る際の注意点】 ① ひとつのケアが終了するごとに、手指消毒を行う。 ② 外側の手袋が汚れた場合は適宜交換し、手指消毒を行ってから次のケアに入る。	● マスクは外さない。 ● 1～2時間ごとに10分～15分を目安に換気する。 ● 利用者が寒がる場合は、衣類等で調整する。 ● 発熱等の体調不良がある場合は、相談センターへの連絡を促す。 ● 突然の咳に備えて、利用者の正面に自分の顔をもっていかない。 ● 全介助の場合、利用者の斜め後ろに座り、飲み込みの様子を観察しながら介助する。 ● 利用者がむせたときは、前掛けで利用者の口元を覆い、ホームヘルパーは、体を後ろに引いて唾液を浴びないように注意する。 ● 口腔ケアの際も利用者の正面に立たないように注意する。

手 順	ポイント
【防護具等脱衣】 ① 予め玄関に準備しておいた 2 枚のビニール袋の前に立つ。 ② 手指消毒を行う。 ③ 目にウイルスが付着しないよう注意しながらゴーグルまたはフェイスシールドを外し、アルコール除菌ウェットティッシュで拭いてから持ち帰り用のビニール袋に入れる。 ④ 手指消毒を行う。 ⑤ 外側の手袋を外す。 ⑥ 手指消毒を行う。 ⑦ エプロンを脱ぐときは、エプロンの外側が自分の顔や髪、服等に触れないように注意し、裏返しにしてたたみながら脱いで、廃棄用のビニール袋にゆっくり入れる。 ⑧ 手指消毒を行う。 ⑨ キャップのてっぺんをつまみながら外し、廃棄用のビニール袋にゆっくり入れる。 ⑩ 手指消毒を行う。 ⑪ 足カバーを外し廃棄用のビニール袋にゆっくり入れ、靴を履く。	       ● 脱いだ後もスリッパは、あまり触らないようにする。

手 順	ポイント
⑫ 手指消毒を行う。 ⑬ 内側の手袋を外し、手洗い後手指消毒を行う。 ⑭ マスクを外し、廃棄用のビニール袋に入れ、手指消毒を行い、新しいマスクを装着する。 ⑮ 廃棄用のビニール袋の空気をゆっくり抜いて、口をしっかりと縛り、玄関ホールに置く。 【退室】 ① バッグをビニール袋からだして肩にかける。 ② バックが入っていたビニール袋を裏返しにして、持ち帰り用のビニール袋を入れる。 ③ 玄関から外へ出る。 ④ 手指消毒を行う。	   

5. 上記手順に記載のないケア等の注意点について

- ① 清拭や排泄介助、移動・移乗介助等の直接ケアの場面での注意点
 - (ア) 手袋を二重に装着し、ケアの前後に手指消毒を行う。
 - (イ) 排泄介助及び清拭後は、必ず外側の手袋を交換し、それ以外のケアについても汚れたら適宜交換する。
 - (ウ) ケアの際は、利用者と正面で向き合うことがないように注意する。

- ② 掃除の場面での注意点
 - (ア) 手袋を二重に装着し、援助の前後に手指消毒を行う。
 - (イ) 床やトイレ等、あらゆる場所にウイルスが付着していることを意識し、直接素手でさわらないよう注意する。
 - (ウ) ウイルスを室内に広げないように、こまめに手指消毒及び清掃用タオル等の消毒を行う。
- ③ 洗濯の場面での注意点
 - (ア) 手袋を二重に装着し、援助の前後に手指消毒を行う。
 - (イ) 衣類に付着しているウイルスが飛散しないように丁寧に取り扱う。
- ④ 買物代行の場面での注意点
 - (ア) PPE（個人防護具）の着衣・着脱の回数が増えないよう最初の援助として行う。
 - (イ) ホームヘルパーが訪問する前に、利用者等へ買物メモとお金の準備を依頼する。
 - (ウ) 訪問時に利用者等がマスクを装着していない場合は、マスクを装着していただく。
 - (エ) バッグが床等に接触しないよう、大きいビニール袋に入れて玄関ホール等へ置く。
 - (オ) 玄関で買物メモの内容及び預かる金額を確認した上で買物を行う。
 - (カ) 利用者宅に戻ったら洗面所の蛇口等を消毒してから手洗い・手指消毒を行い、PPE（個人防護具）を装着後、利用者等へ品物及びお釣りの確認を行う。
- ⑤ 記録について
 - (ア) 感染のリスクを下げるため、利用者宅で記録は行わず、事業所又は自宅に戻ってから記録する。
 - (イ) 利用者確認印は、自宅待機の期間が解除された後にまとめて押印していただく。

【参考動画】

NHK スペシャル (20200322) 「マイクロ飛沫」

<https://www.youtube.com/watch?v=rcf2ebG-zEM>



(タイトルで検索する場合は「NHK スペシャル“パンデミックとの闘い～感染拡大は封じ込められるか～」

訪問介護員のためのそうだったのか！感染対策

https://www.youtube.com/playlist?list=PLMG33RKISnWj_HIGPFEBEiyWloHZGHxCc



【参考資料】

厚生労働省ホームページ「手洗い」

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000593494.pdf>



厚生労働省ホームページ「新型コロナウイルス対策（消毒）」

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000614437.pdf>



厚生労働省ホームページ「3つの密を避けるための手引き！」

<https://www.kantei.go.jp/jp/content/000062771.pdf>



厚生労働省ホームページ「あなたが自宅待機を指示されたら」

https://www.jaccw-carewel.net/jaccw_info_file/topics/801/pamphlet.pdf



厚生労働省ホームページ「家庭内でご注意いただきたいこと～8つのポイント～」

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000601721.pdf>

